

4928 ノエビアホールディングス

吉田 一幸 (ヨシダ イッコウ)

株式会社ノエビアホールディングス取締役

化粧品事業が収益増に貢献

◆2017 年 9 月期第 2 四半期業績ハイライト

2017 年 9 月期第 2 四半期の売上高は 267 億 15 百万円(前年同期比 17 億 88 百万円増、7.2%増)、営業利益 47 億 11 百万円(同 9 億 94 百万円増、26.8%増)、経常利益 48 億 74 百万円(同 12 億円増、32.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益 20 億 44 百万円(同 7 億 98 百万円増、64.1%増)と増収増益を達成し、予想値も上回った。

営業利益の増加要因は、化粧品事業のカウンセリング化粧品の高級基礎シリーズとセルフ化粧品による増収効果に加え、前期は南天のど飴の自主回収に伴う損失額 5 億 5 百万円を計上したこともあり、前年同期より約 10 億円増加した。

化粧品事業については、売上高 194 億 78 百万円(前年同期比 12 億 21 百万円増、6.7%増)、セグメント利益 54 億 53 百万円(同 6 億 1 百万円増、12.4%増)、売上構成比は 72.9%となった。

カウンセリング化粧品では、新商品のエイジングケア美容液「エンリッチ 33」や高級基礎シリーズが堅調に推移し、収益に貢献した。顧客接点の場である全国の販売代理店のサロン「ノエビア ビューティスタジオ」はサービスの質の向上を図っている。

セルフ化粧品では、「なめらか本舗」が新商品・顧客層の拡大により伸長、メイクシリーズ「エクセル」、「ニューボーン」は新商品投入および配荷店舗数・顧客層の拡大により伸長した。敏感肌向けブランド「ノブ」は、メイクシリーズをリニューアルした効果により売上が増加した。

海外および OEM では、アジア中心にセルフ化粧品の配荷店舗数が増え、売上も増加している。また、OEM 商品の受注も増加した。

医薬・食品事業については、売上高 62 億 73 百万円(前年同期比 4 億 27 百万円増、7.3%増)、セグメント利益 2 億 46 百万円(同 3 億 67 百万円増)、売上構成比 23.5%となった。南天のど飴は 2016 年 8 月から再出荷しており、売上は復調している。全体的には医薬品のど飴、栄養補助食品、食品ドリンクが堅調に推移している。

その他の事業については、売上高 9 億 62 百万円(同 1 億 39 百万円増、16.9%増)。セグメント利益 60 百万円(同 1 億 47 百万円増)と黒字転換した。ノエビアの対面販売で扱っているアパレル・ボディファッションの売上は低調で、前年同期を下回った。また、北米の航空関連事業では損失改善ができた。

◆連結財務情報

流動資産は、現金および預金が 382 億 10 百万円(前年同期比 18 億 51 百万円)となった。ただし、現預金残高から長期預り保証金を差し引いた正味現金預金残高は 236 億 48 百万円(同 23 億 70 百万円増)となる。有形固定資産は 234 億 55 百万円(前年同期比 12 億 20 百万円減)となっており、主に三重工場のドリンク生産設備関連の償却による。以上の結果、資産合計は 892 億 33 百万円(同 23 億 3 百万円増)となり、自己資本比率は 60.5%となった。

◆中期経営計画と下半期の主な取り組みと業績見通し

3カ年中期経営計画では、2019年9月期売上高550億円、営業利益100億円、ROE12.0%を経営目標としている。今期の業績予想は売上高520億円、営業利益85億円、ROE10.3%。収益力のある化粧品事業を更に伸ばし、目標達成を目指す。

2017年9月期の業績予想は、下半期の売上252億84百万円、営業利益37億88百万円、経常利益38億25百万円、四半期純利益37億55百万円である。保守的な数字かもしれないが、確実に達成していく。

下半期の主な取り組みとして、化粧品事業については、カウンセリング化粧品・セルフ化粧品ともに顧客ニーズをとらえた新商品を投入し、中核事業として収益性の向上を図る。

カウンセリング化粧品では、エイジングケア美容液「バイオサイン 薬用ナイトスムーザー」を発売し、拡販に注力する。「ノエビア ビューティスタジオ」は引き続きサービスの質の向上を図る。

セルフ化粧品では、「なめらか本舗」、「エクセル」の新商品を発売し、売上拡大を目指す。ノブはエイジングケアシリーズ「L&W」のアイテム拡充およびメイクシリーズの拡販を図る。海外はアジア市場を中心に配荷店舗数増と、中国でのECモールの取り組みも行う。

医薬・食品事業については、「眠眠打破」シリーズが発売20周年を迎え、Web・SNSを活用したプロモーションを行い、さらなるブランド強化を図る。南天のど飴は来年の発売50周年に向けて企画品・新商品発売などを計画しており、売上拡大を目指す。

その他の事業については、アパレル・ボディファッションは新商品を投入。航空関連事業においては景気の影響を受ける分野ではあるが、動向を見きわめながら慎重に対応する。

配当は、期末は120円を予定している。ホールディング体制になった2011年9月期以来、5期連続の増配を続けている。

(平成29年5月12日・東京)

* 当日の説明会資料は以下のHPアドレスから見るができます。

http://www.noevirholdings.co.jp/ir/account/guide/pdf/2017m_shiryo_170512.pdf